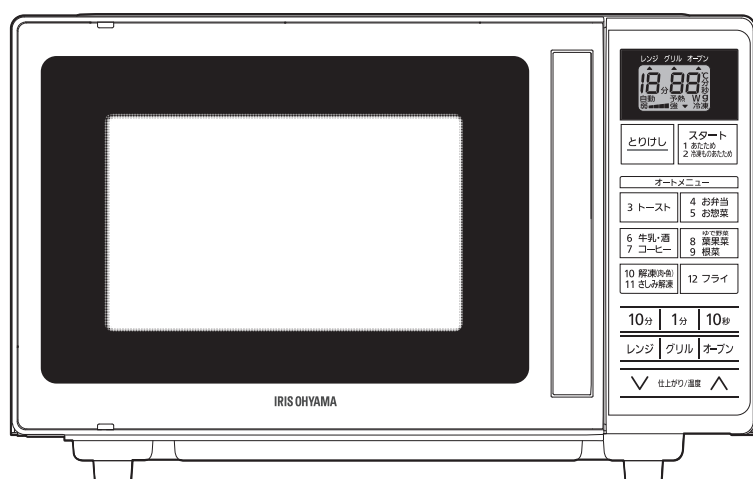


オーブンレンジ

MO-T1604

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	6
加熱のしくみ	7
使える容器・使えない容器	8
各部の名称	10

取り扱いかた

準備	13
使いかた 基本	15
使いかた オートメニュー	
あたため／冷凍ものあたため	16
トースト	18
お弁当／お惣菜／牛乳・酒／コーヒー	19
ゆで野菜 葉果菜／ゆで野菜 根菜	20
解凍(肉・魚)／さしみ解凍	21
フライ	22
オートメニュー一覧	23
使いかた 手動メニュー	
レンジ	24
グリル	27
オーブン	28
お手入れ	31

こんなときには

故障かな？と思ったら	32
仕様	34
保証とアフターサービス	35
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。

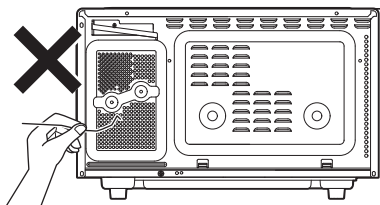


危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



- 吸気口・排気口や製品のすきま、庫内の開口部に、異物を入れない
火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用后1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

- **アースを必ず取り付ける**
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- **湿気の多い場所**
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- **水気のある場所**
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



- **水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する**
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

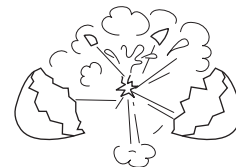


- **アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない**
爆発・火災の原因になります。

レンジ加熱時は



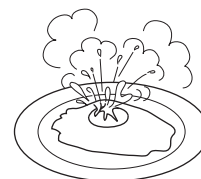
- **卵は必ず黄身まで割りほぐしてから加熱する**
- **殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる**
- **びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する**
破裂して、けがややけどの原因になります。



- **乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認する**
やけどのおそれがあります。



- **缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない**
破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- **ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない**
爆発して大変危険です。



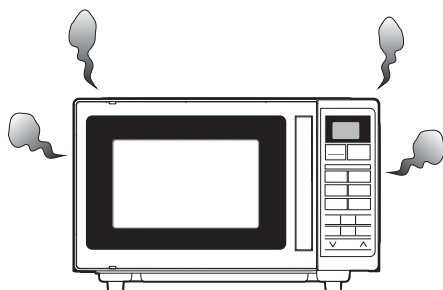
調理中は



- **調理中はそばを離れない**
食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。



- **繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する**
ラップをする、加熱しすぎないなど注意して調理してください。



- **屋外で使用しない**
- **壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない**
- **畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない**
火災の原因になります。

飲みものなどの加熱時は



- **加熱し過ぎないように注意する**
- **加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる**
飲みものや油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。



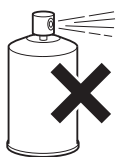
水ぬれ禁止

- **水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない**
- **本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない**
火災・感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



- スプレーをかけない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
- 扉に無理な力を加えない
変形して電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中、時々電源が切れる
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吸気口・排気口をふさがない
火災の原因になります。



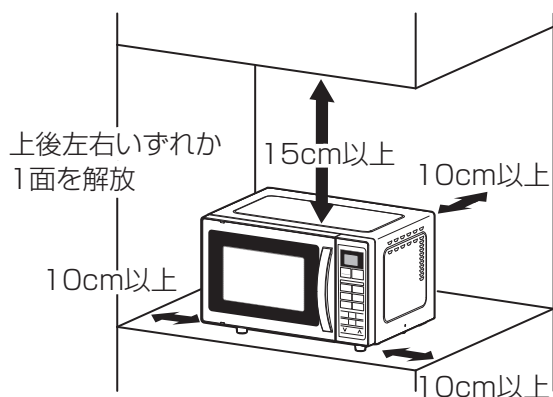
注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

安全に設置する



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。



- 肩より高い位置に設置しない
食品を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。



- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない
感電や電波もれによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。
- 扉にものをはさんだまま使用しない
誤動作して、電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



- 衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない
火災や異常動作の原因になります。
- 業務など家庭用以外に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。



- 本体の上にもものを置かない
- 本体の下にもものを置かない
火災の原因になります。

加熱禁止



- レンジで金属容器や金串、アルミホイルは使用しない
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
- 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない
火災の原因になります。
- 庫内が空のままレンジ加熱しない
過熱して火災の原因になります。

食品が発煙・発火した場合は



- 扉を開けない
食品が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。



- 庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波もれなど危険な状態になるおそれがあります。

加熱中・加熱後は



接触禁止

- 高温になっている部分に触れない
加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

- ラップを外すときは注意する
蒸気でやけどするおそれがあります。



プラグを抜く

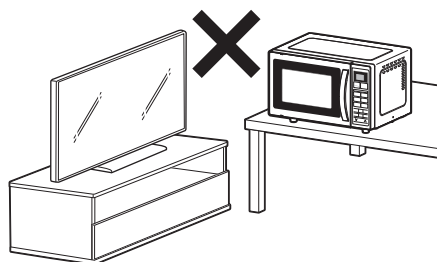
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 電源コードは本体の下を通さない
火災の原因になります。

使用上の注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 無線LAN機器から離してください。
無線LANの通信機能が低下する場合があります。

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。
扉を開けたままにすると、10分後に庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。
- 扉を閉めた状態で、何も操作をしないで約5分経過すると、電源が切れます。
- 本製品は、ボタンを操作するとお知らせ音が鳴ります。加熱終了も音でお知らせします。（音を消すこともできます。）
- 取り忘れ防止のために、加熱終了後、扉を開けないと「ピッ」と5回鳴ってお知らせします。（これを1分ごとに5回繰り返した後、電源が切れます。）

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

加熱のしくみ

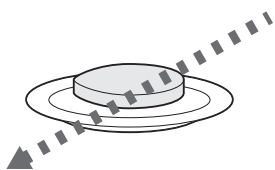
本製品は、レンジ加熱・ヒーター加熱の機能を持った調理器です。

レンジ加熱

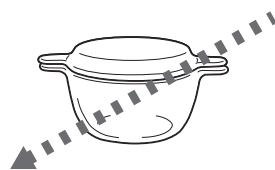
庫内に電波が放射されると、食品に含まれる水分子に吸収され加熱されます。



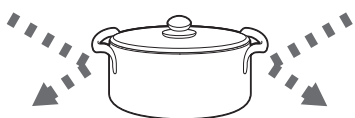
水分のある食品は電波を吸収します。



水分が凍っていると電波が吸収されにくくなります。



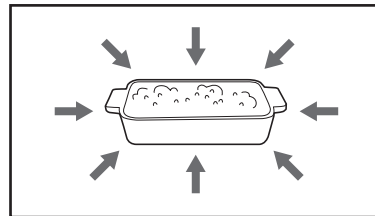
ガラス容器、陶器などは電波が透過し、吸収されません。



金属製の器は電波を反射します。
(火花が出ることがあります。)

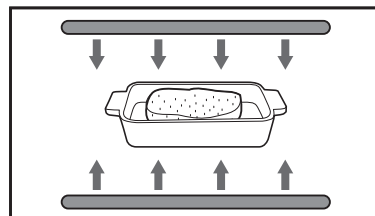
ヒーター加熱（オーブン）

上下にあるヒーターで庫内の温度を一定に保ち、じっくり焼き上げます。中までよく火を通したいときに使います。

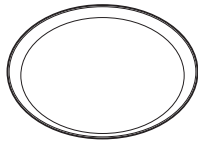
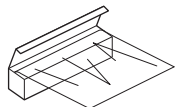
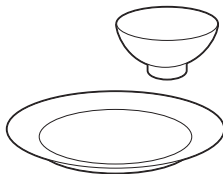


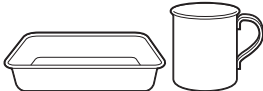
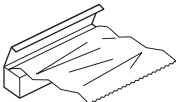
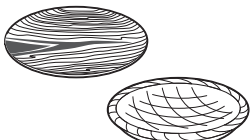
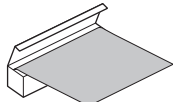
ヒーター加熱（グリル）

上下にあるヒーターで、高温で一気に焼き上げます。火の通りやすいものや、表面に焦げ目をつけたいときに使用します。



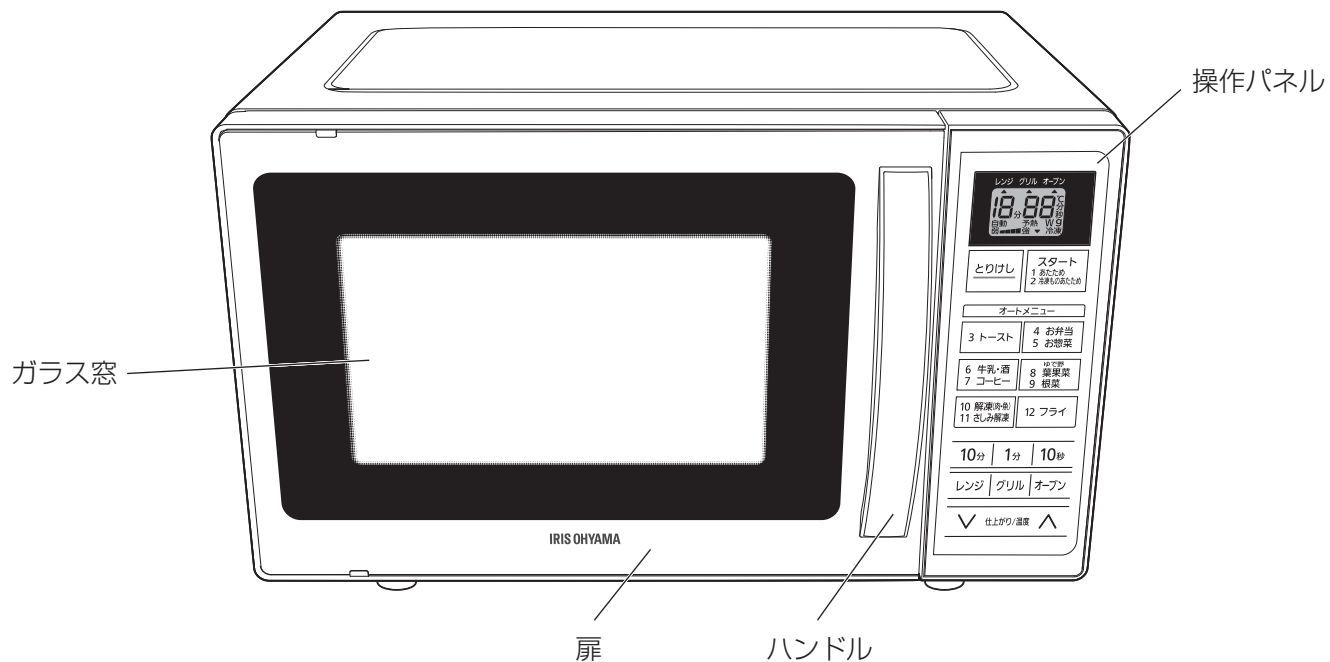
使える容器・使えない容器

容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
付属の丸皿 		○ 使えます	
ガラス	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	耐熱性がない 	✕ 使えません ・カットグラス・強化ガラスも使えません。	
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・金属を使用しているものは使えません。	✕ 使えません ・ただし、オープン調理で、設定温度が耐熱温度以下であれば使えます。
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	✕ 使えません ・耐熱性容器でも、ふたは耐熱性でないことがあるので確認してください。 ・熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリエチレン (PE) など) ・ただし、レンジ加熱の解凍や、オープン加熱の発酵などでは使えます。	
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使えます ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。	✕ 使えません ・ただし、オープン加熱の発酵では使うことがあります。
陶磁器	耐熱性がある 	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。	○ 使えます ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性がない 		✕ 使えません

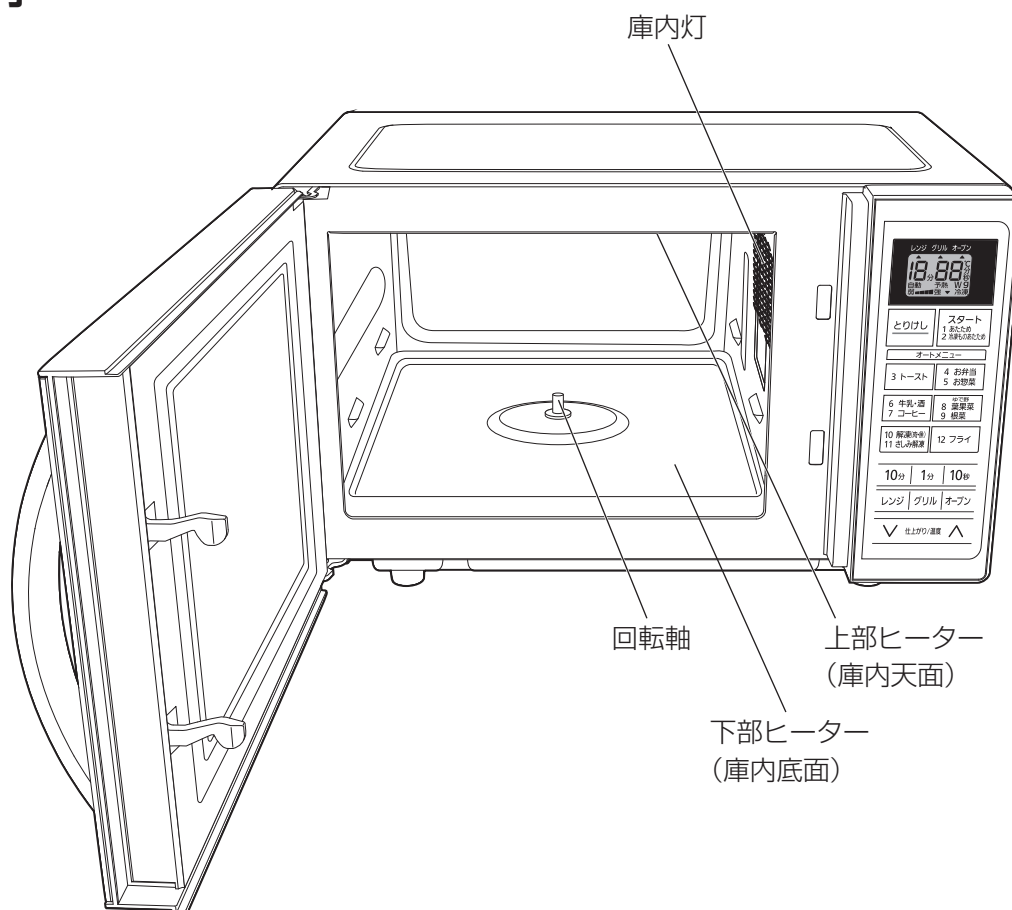
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)
金属	アルミ・ほうろうなどの金属容器 	✕ 使えません 金串、金網、金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使えません。	○ 使えます
	アルミホイル 	✕ 使えません 放電・火花・過熱・やけどの原因になります。	○ 使えます ただし、ヒーターに直接触れないようにしてください。
紙・木・竹	漆器 	✕ 使えません 塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。	
	紙・木・竹 	✕ 使えません - 加熱し過ぎると燃えたりすることがあります。 - 釘や針金など金属を使用しているものは使えません。	✕ 使えません
	クッキングペーパー クッキングシート クッキングバッグ 	○ 使えます ただし、加熱し過ぎると燃えたりすることがあります。	△ 発煙・発火することがあるので、注意して使用してください。

各部の名称

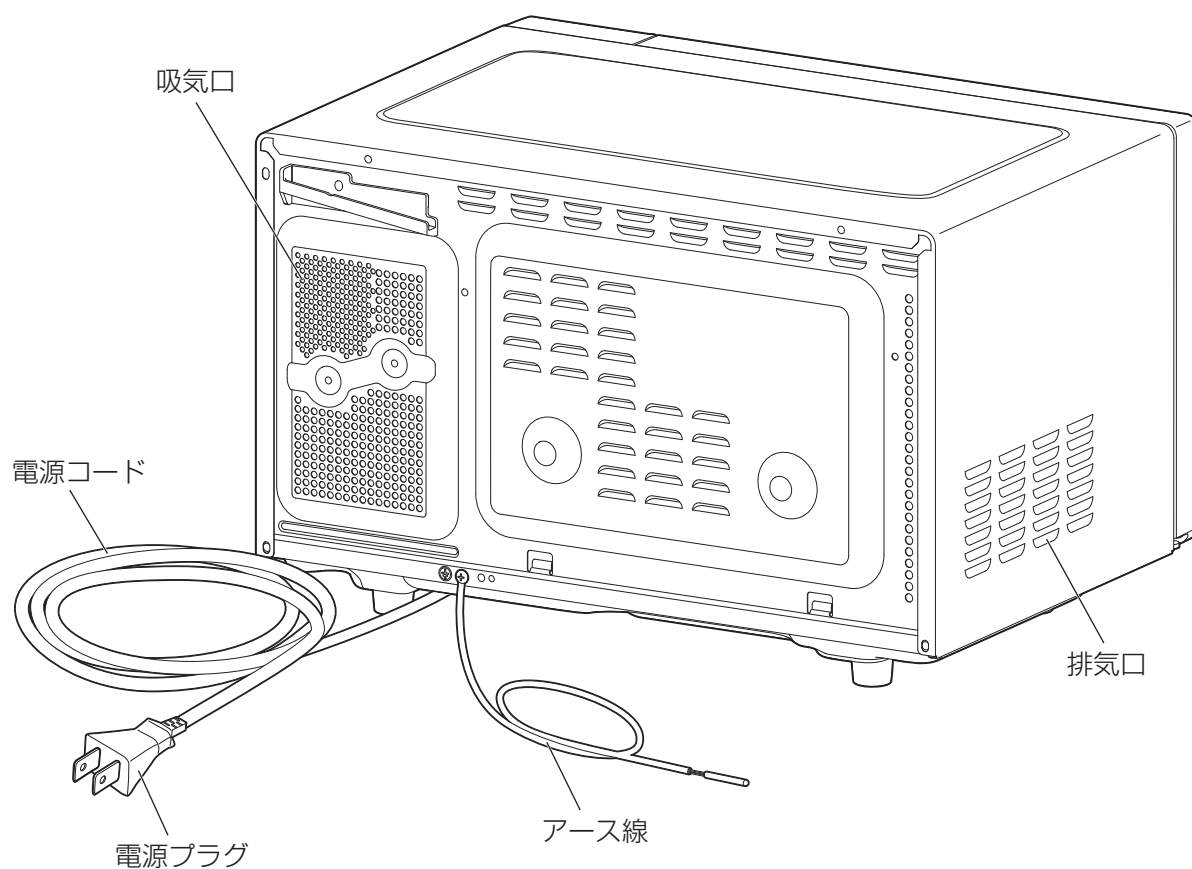
■正面



■庫内



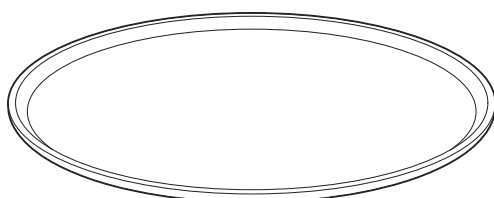
■背面



■付属品

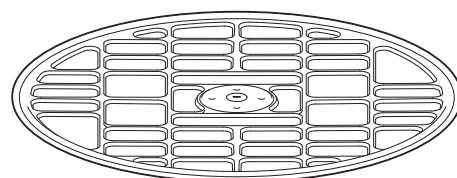
丸皿（耐熱ガラス製）

※ 落としたりぶつけないでください。



回転台

常に庫内にセットしておきます。丸皿を使用するときは、この上に置きます。



各部の名称 つづき

■操作パネル

表示部

加熱時間やメニュー番号などが表示されます。

とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で止めるときに押します。

(→P15)

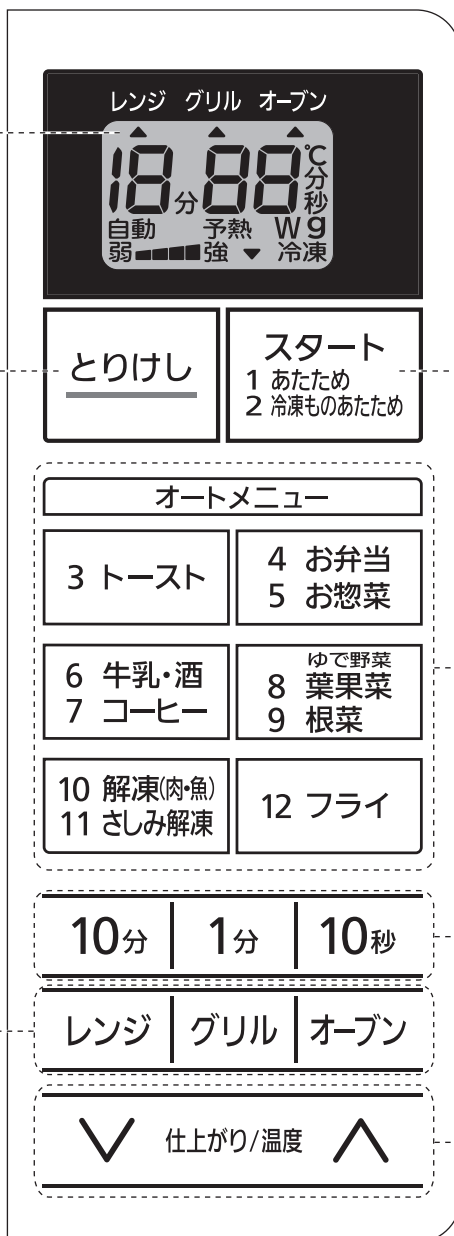
長押しすると、お知らせ音の切／入を切り替えできます。

(→P16)

手動メニューボタン

手動で加熱するとき、加熱の種類を選びます。

(→P24～31)



スタートボタン

ボタンを押すと加熱がスタートします。

オートメニューボタン

オートメニューを選びます。

(→P18～23)

時間設定ボタン

手動メニューで、時間を設定するとき使用します。

仕上がり／温度ボタン

オートメニューの仕上りの調節や、手動メニューでオープンの調理温度の設定に使用します。

準備

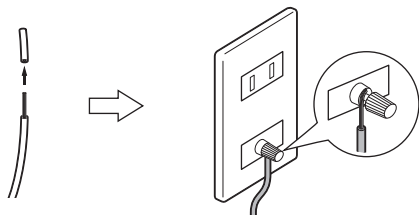
■ 設置

1 4ページの「安全に設置する」にしたがって、設置する

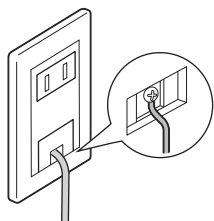
2 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

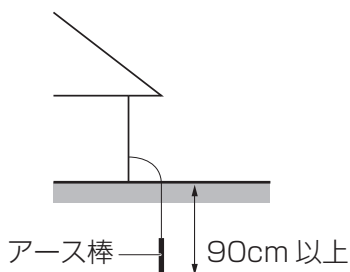


- ・ふた付きの場合は開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。

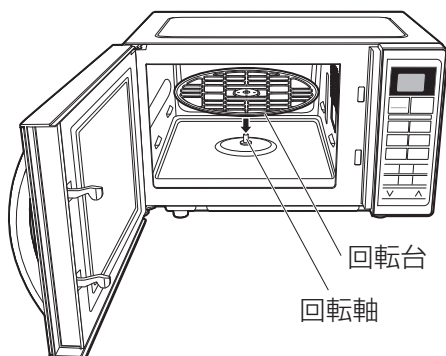


警告

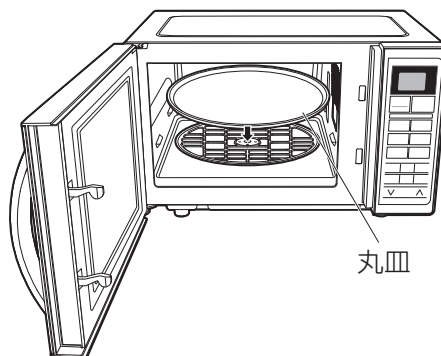
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

3 回転台を取り付ける

- ・回転軸に回転台の底面の軸をしっかり差し込んでください。

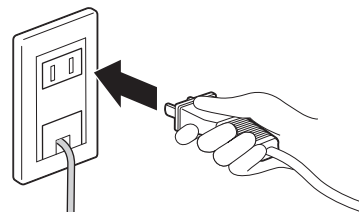


4 回転台の上に丸皿をセットする



- ・調理によっては、丸皿を取り外して使用します。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

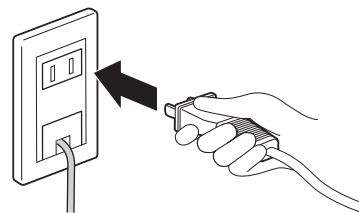


- ※ 初めて使用するときは、電源プラグを差し込んで1分以内に0点調整を行ってください。

■ 0点調整

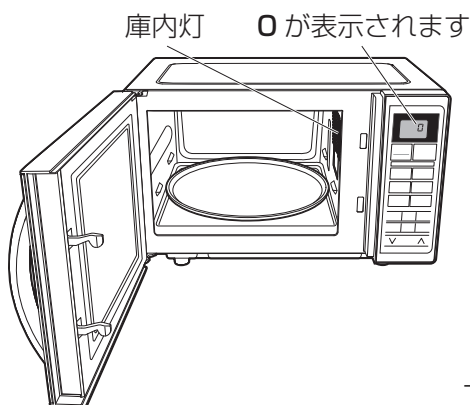
本製品は、内蔵の重量センサーで食品・食材の重量を計測して自動調理しています。初めて使用するときは、0点調整を行ってください。また、精度を保つために、定期的に（1か月に1回程度）、0点調整を行ってください。

1 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込む



2 扉を開閉して電源を入れる

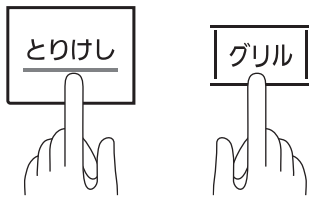
- ・庫内灯が点灯します。



→つづく

準備 つづき

3 とりけしボタンを押しながらグリルボタンを押す



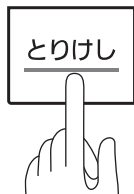
- ・表示部に残り時間が表示され、丸皿が回転します。
- ・10秒経過すると「Gd」が表示され、0点調整は完了します。

レンジ グリル オープン



※ 電源プラグを差し込んでから1分以上経過したり、0点調整中に扉を開けたりすると、0点調整ができません。その場合は、最初からやり直してください。

4 とりけしボタンを押して、元の状態に戻す



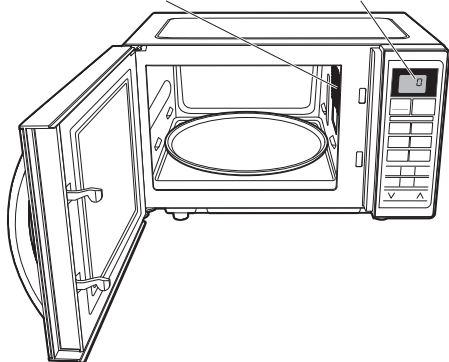
■ から焼き

- ヒーター加熱（オープンまたはグリル）を初めて使用するとき、煙やにおいが出ることがあるので、使用を始める前から焼きしてください。
- から焼きするときは、必ず換気してください。また、小鳥や小動物は別な部屋に移してください。

1 扉を開閉して電源を入れる

- ・庫内灯が点灯します。
- ・扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品は入れずに扉を閉めます。

庫内灯 0が表示されます

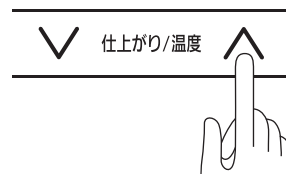


2 手動メニューのオープンボタンを押す



※ 操作を取り消すとき、加熱を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

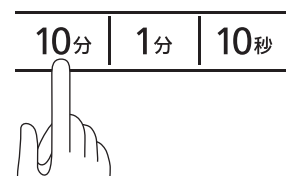
3 仕上がり／温度ボタンで、温度を200℃に設定する



レンジ グリル オープン



4 時間設定ボタンで、時間を20分に設定する



レンジ グリル オープン



5 スタートボタンを押す

- ・から焼きがスタートします。



- ・表示部に残り時間が表示されます。

- ・終了すると終了音が鳴り、庫内灯が消灯します。
- ※ 1回のから焼きでにおいが取りきれない場合でも、何度か加熱をするとおいはしなくなります。

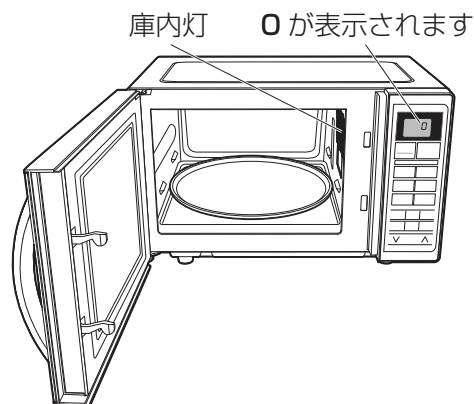


注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、丸皿が熱くなるのでやけどに注意してください。

■電源を入れるには

- ・扉を開けると電源が入ります。
- ・扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。

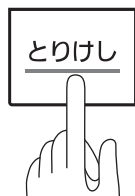


※扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。

※扉を開けたままだと、約10分で庫内灯は消灯しますが、電源は切れません。

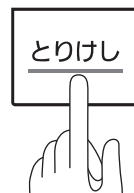
■操作を取り消すには

- ・操作中にとりけしボタンを押すと、操作は取り消されて最初の状態に戻ります。
- ・1分間何も操作をしなかった場合も、それまでの操作は取り消されます。



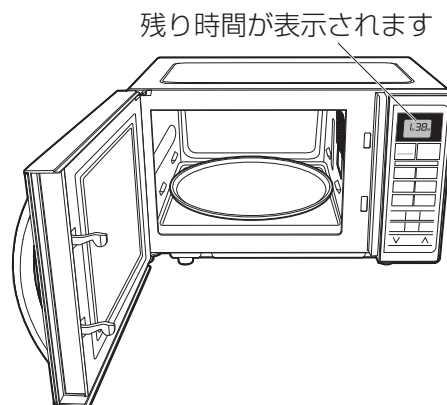
■加熱を停止するには

- ・加熱中にとりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。
- ・一時停止中にとりけしボタンを押したときも、加熱は停止して最初の状態に戻ります。



■加熱を一時停止するには

- ・加熱中に扉を開けると、加熱は一時停止します。



- ・扉を閉めてスタートボタンを押すと加熱が再開します。

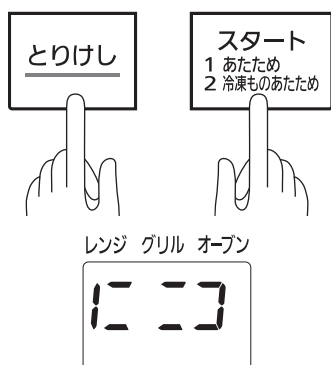


■チャイルドロック

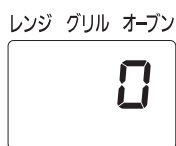
子どものいたずら事故を防ぐために、チャイルドロックをかけることができます。

チャイルドロックをかけるには

- ・とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押してください。
- ・表示部に「**1 2**」が表示されます。
- ※スタートボタンを先に押すと加熱がスタートしてしまいます。とりけしボタンを先に押すようにしてください。

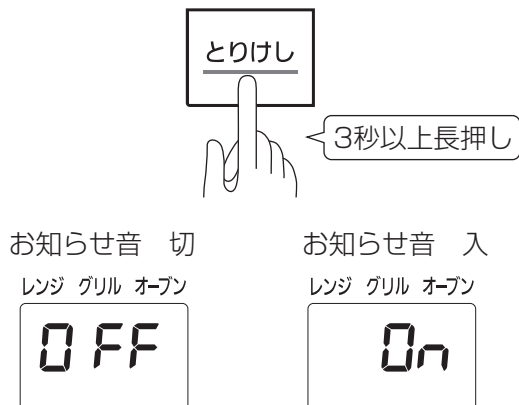


- ・再度とりけしボタンを押しながらスタートボタンを押すと、チャイルドロックは解除されます。



■お知らせ音を切ったり、入れたりするには

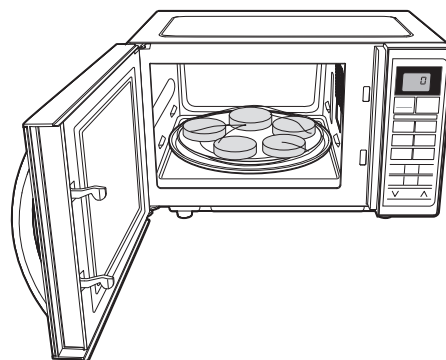
- ・表示部に0が表示されているときに、とりけしボタンを3秒以上長押ししてください。長押しするたびに、お知らせ音の切／入が切り替わります。



- レンジ加熱を使用します。金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。(→P8～9)

1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて、丸皿に置きます。
- ・食品は、できるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。



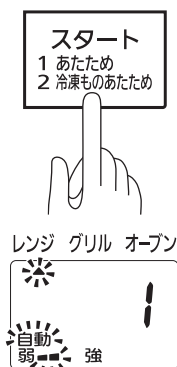
※ごはんはラップをせず、固めのときは水をふりかけてください。

※市販の調理済み揚げ物をあたためるときは、**12** フライメニューで加熱すると、カラッと仕上がります。(→P22)

! 注意 ●汁ものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

2 スタートボタンを押す

- 1回押すと：あたため（冷蔵品や常温品のあたため）
2回押すと：冷凍ものあたため（冷凍品のあたため）
・スタートボタンを1回押すと、1と表示され、冷蔵品や常温品のあたためがスタートします。



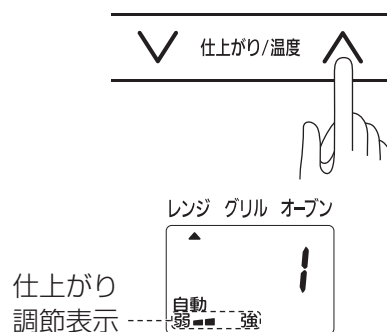
- ・15秒以内にスタートボタンを再度押すと、2と表示され、冷凍品のあたために切り替わって加熱されます。



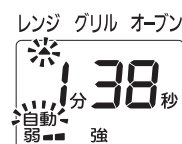
- ・加熱がスタートして15秒以内は、スタートボタンで1（あたため）と2（冷凍ものあたため）を切り替えることができます。

3 必要に応じて仕上がり / 温度ボタンで調節する

- ・加熱がスタートして15秒以内は、仕上がり / 温度ボタンで仕上がりの強弱を調節できます。
・1 あたためメニューで冷蔵品をあたためるときは、強めに調節してください。



- ・加熱がスタートして15秒後に残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- ・加熱が終了すると、「ピット」と5回鳴ってお知らせします。



注意

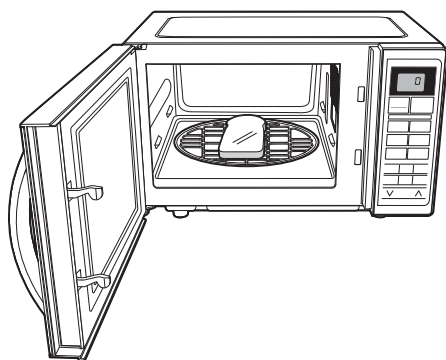
- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
●加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた オートメニュー（トースト）

- 丸皿を取り外して使用します。食パンは回転台の上に載せてください。

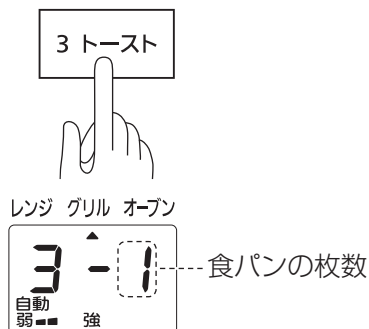
1 回転台に食パンを載せ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・丸皿は取り外して、回転台の上に食パンを載せます。



2 3 トーストボタンを押して、食パンの枚数を選ぶ

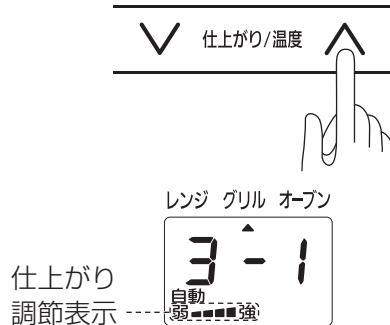
- ・3 トーストボタンを押すたびに、3-1（食パン1枚）と3-2（食パン2枚）が切り替わります。



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり／温度ボタンで調節する

- ・仕上りの強弱を調節できます。
- ・標準は6枚切りです。8枚切りや4枚切りなどは、厚さに応じて調節してください。
- ・糖分や油脂分の多いパンは濃く焼けるなど、パンの種類や大きさによって焼き色が変わります。仕上がりを見ながら調節してください。



- ※スタートボタンを押した後も、約15秒間は仕上りを調節できます。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、約15秒後に残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。
- ・焼き加減が足りないときは、手動メニューのグリルを使用して、焼き加減を見ながら加熱してください。（→P27）



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

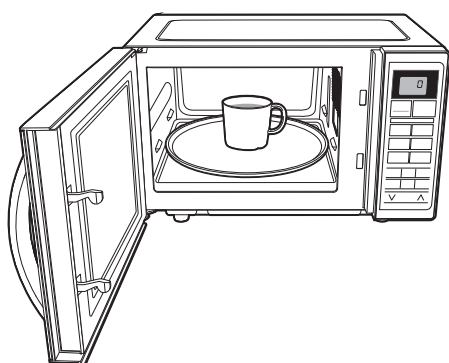
使いかた オートメニュー（お弁当／お惣菜／牛乳・酒／コーヒー）

- レンジ加熱を使用します。金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

食品または飲みものの重量を計測して、自動で加熱調理します。

1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品または飲みものを耐熱性の容器に入れて、丸皿に置きます。
- ・食品または飲みものは、できるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。



警告

- 弁当は、調味料の容器・丸ごとのゆで卵・アルミカップなどは取り出してから加熱してください。

注意

- 飲みものは、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

2 メニューを選ぶ

- ・4 お弁当／5 お惣菜ボタンまたは6 牛乳・酒／7 コーヒーボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。



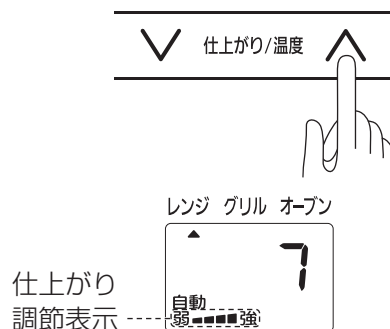
表示	ボタン	メニュー	加熱できる分量
4	4 お弁当	お弁当	400～700g
5	5 お惣菜	お惣菜	300～500g
6	6 牛乳・酒	牛乳・酒	1～4杯
7	7 コーヒー	コーヒー	

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり／温度ボタンで調節する

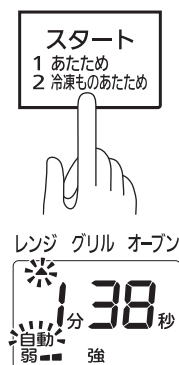
- ・仕上がりの強弱が調節できます。



※スタートボタンを押した後も、約15秒間は仕上がりを調節できます。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、約15秒後に残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。

注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

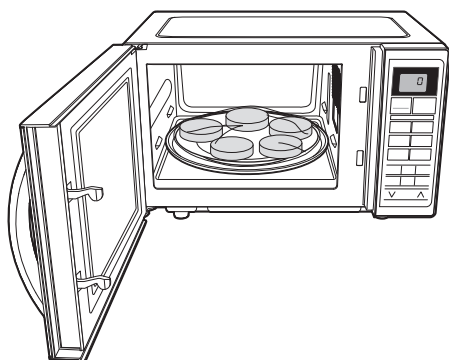
使いかた オートメニュー（ゆで野菜 葉果菜／ゆで野菜 根菜）

- レンジ加熱を使用します。金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

食材の重量を計測して、自動で加熱調理します。

1 食材を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食材を耐熱性の容器に入れて、丸皿に置きます。
- ・食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- ・食材は耐熱皿に、できるだけ重ならないように並べ、ラップでおおいます。さらに丸皿の中央に置いてください。
- ※油分を含む食材を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがあるので注意してください。



- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花が出ることがあります。100gより少ないときは、手動加熱の方法にしたがってください。（→P25）

2 メニューを選ぶ

- ・8 ゆで野菜 葉果菜／9 ゆで野菜 根菜ボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。



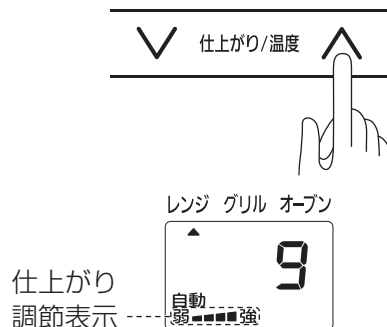
表示	ボタン	メニュー	加熱できる分量
8	ゆで野菜 8 葉果菜 9 根菜	ゆで野菜 葉果菜	100～400g
9		ゆで野菜 根菜	100～1,000g

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり／温度ボタンで調節する

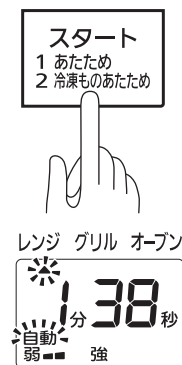
- ・仕上りの強弱が調節できます。



※スタートボタンを押した後も、約15秒間は仕上りを調節できます。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、約15秒後に残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた オートメニュー（解凍（肉・魚）／さしみ解凍）

- レンジ加熱を使用します。金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。（→P8～9）

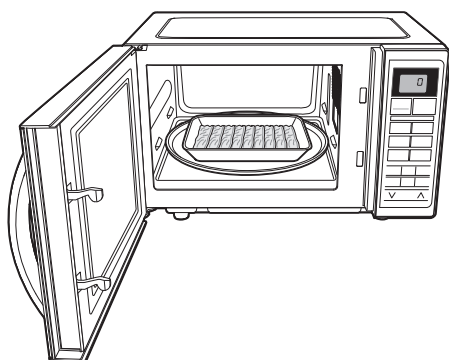
食材の重量を計測して、自動で解凍します。

1 食材を入れて扉を閉める

- ・食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーに載せたまま丸皿に置きます。
- ・発砲スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- ・食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- ・食材は、できるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。

※解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。

※少量の食材（100g未満）は、煮えや変色のおそれがあるので、解凍はできません。

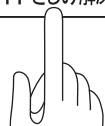


- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のし過ぎに注意してください。

2 メニューを選ぶ

- ・10 解凍（肉・魚）／11 さしみ解凍ボタンを押すたびに、メニューが切り替わります。

10 解凍(肉・魚)
11 さしみ解凍



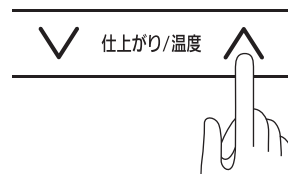
表示	ボタン	メニュー	解凍できる分量
10	10 解凍(肉・魚)	解凍（肉・魚）	100～400g
11	11 さしみ解凍	さしみ解凍	100～1,000g

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり／温度ボタンで調節する

- ・仕上りの強弱が調節できます。



レンジ グリル オープン

仕上がり
調節表示



※スタートボタンを押した後も、約15秒間は仕上がりを調節できます。

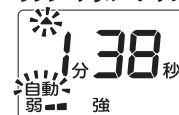
4 スタートボタンを押す

- ・解凍がスタートし、約15秒後に残り時間が表示されます。

スタート
1 あたため
2 冷凍ものあたため



レンジ グリル オープン



- ・扉を開けると、解凍は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、解凍を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、解凍は停止します。
- ・解凍が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。

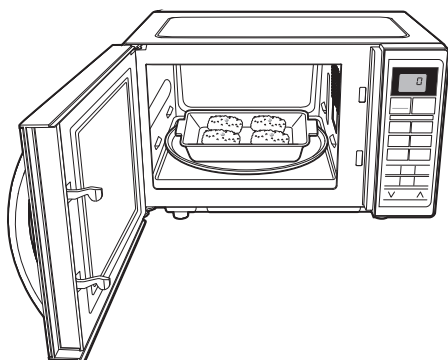
使いかた オートメニュー（フライ）

- レンジ加熱とヒーター加熱（オープン）を使用します。
金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。耐熱性のない食器・ラップなどは使えません。（→P8～9）

食品の重量を計測して、自動で加熱調理します。

1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて、丸皿に置きます。
- ・食品は、できるだけ丸皿の中央に、均等に配置してください。



2 メニューを選ぶ

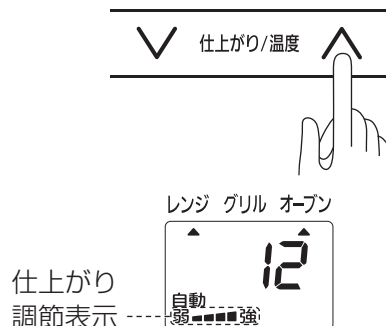
- ・12 フライボタンを押すと、12が表示され、フライ（揚げ物のあたため）メニューになります。



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 必要に応じて仕上がり／温度ボタンで調節する

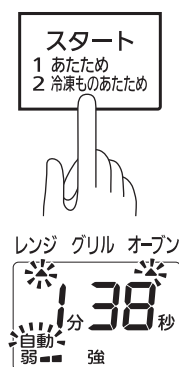
- ・仕上りの強弱を調節できます。



- ※スタートボタンを押した後も、約15秒間は仕上りを調節できます。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、約15秒後に残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、丸皿が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

オートメニュー一覧

表示	メニュー	調理できる分量	使用加熱方法	参照ページ
1	あたため	100 ～ 600g	レンジ	P16
2	冷凍ものあたため			
3-1	トースト	1枚	グリル	P18
3-2		2枚		
4	お弁当	400 ～ 700g	レンジ	P19
5	お惣菜	300 ～ 500g		
6	牛乳・酒	1 ～ 4杯		
7	コーヒー			
8	ゆで野菜 葉果菜	100 ～ 400g	レンジ	P20
9	ゆで野菜 根菜	100 ～ 1,000g		
10	解凍(肉・魚)	100 ～ 400g	レンジ	P21
11	さしみ解凍	100 ～ 1,000g		
12	フライ	100 ～ 300g	レンジ+オーブン	P22

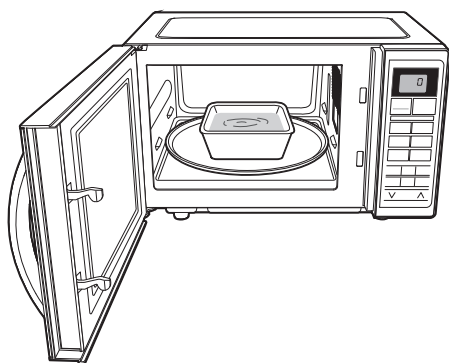
使いかた 手動メニュー (レンジ)

- レンジ加熱を使用します。金属の皿・容器、アルミホイルは使えません。(→P8～9)

手動で出力と時間を設定して加熱します。

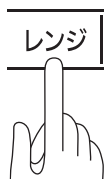
1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて、丸皿に置きます。
- ・食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。
- ※量が多いときは、少量ずつに分けて加熱してください。
- ※ご飯やカレーなどは、平たく均一に1人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ※ラップの使いかたについては、26ページをご覧ください。



2 レンジボタンを押す

- ・レンジボタンを押すたびに出力が切り替わります。



50Hzの電源周波数で使用している場合

- ・500Wを選んでください。

500W → 200W (解凍)

60Hzの電源周波数で使用している場合

- ・650Wまたは500Wを選んでください。

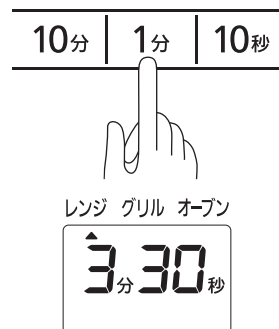
500W → 200W (解凍) → 650W

電源周波数はお住いの地域によって異なります。不明な場合は、お住いの地域の電力会社にお問い合わせください。

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 時間設定ボタンで、時間を設定する



- ・650W、500W※は15分まで、200Wは90分まで設定できます。

※650W、500Wは短時間高出力機能(最大15分)です。連続して加熱したときに、内部の温度が高くなると、350Wに出力を下げて加熱します。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・残り時間表示中は、レンジボタンを押すと設定出力が3秒間表示されます。
- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。

- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、丸皿が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

■レンジ加熱の目安

あたため AC100V、60Hzの電源で **650W**で加熱する場合の目安です。

食品・食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
ハンバーグ	1個 (80g)	—	約1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたまま蒸らす
焼きとり	6本 (150g)	—	約1分	照りを出すため、先にたれを塗る
てんぷら・フライ	1人前 (150g)	—	約1分	キッチンペーパーやてんぷら敷紙の上に、重ならないように並べる
 注意 ●いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個 (100g)	—	約1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前 (200g)	—	約1分30秒	加熱後かき混ぜる また、ぱさついているときはサラダ油かバターを少し混ぜる
ピラフ (冷凍)	1人前 (250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく
ごはん (冷凍)	1杯 (150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個 (80g)	する	約1分	
おにぎり	1個 (80g)	—	約30秒	
まんじゅう	1個 (65g)	—	約20秒	あんが熱くなるので、控えめに加熱する
肉まん・あんまん	1個 (110g)	する	約40秒 (冷凍品は約1分～1分30秒)	底の紙を取って、さっと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む
 注意 ●あんまは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋 (230g)	する	約3分	両面に水をふりかける
みそ汁	1杯 (150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
煮物	1人前 (200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前 (200g)	する	約1分30秒	加熱後かき混ぜる
丼もの	1人前 (350g)	する	約2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯 (200mL)	—	約1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる
お酒 (常温)	1本 (180mL)	—	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる
茶わん蒸しのあたため	1個	—	30～60秒	様子を見ながら加熱する
ロールパンのあたため	2個 (80g)	—	約20秒	時間がたつと固くなるので、食べる直前に加熱する
今川焼き (冷凍)	1個 (90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル (冷凍)	100g	する	約1分30秒	
 注意 ●小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。(にんじん50g+水50mLで約2分)				
里いも (冷凍)	300g	—	約10分	

※ レトルト食品などで500Wが推奨されている場合は、**レンジボタンで500W**を選んでください。

使いかた 手動メニュー（レンジ） つづき

ラップの使いかた

ラップをするもの

- ・ 煮物、蒸しもの、汁もの、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・ 具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

ラップをしないもの

- ・ ごはんもの、揚げもの、焼きもの、炒めものなど、水分を飛ばし気味にしたい場合

- ・ ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に沿わせます。余裕がないと破れることがあります。
- ・ 油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えることがあるので注意してください。

ゆで野菜 AC100V、60Hzの電源で 650Wで加熱する場合の目安です。

食材	分量	ラップ	加熱時間	メモ
じゃがいも さつまいも	150g	する	約3分	丸ごと加熱するときは、丸皿の中央を避けて置く
にんじん	200g	する	約6分	用途に合わせて切り、容器に入れてひたるくらいの水を加え、ふたかラップをする
だいこん	200g	する	約4分	大きさをそろえる
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	太い芯はあらかじめそいでおく
ほうれん草	200g	する	約2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む
カリフラワー ブロッコリー	200g	する	約2分30秒	小房に分け、あらかじめ食塩水につけておく
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく

※ ゆで野菜は、オートメニューでも、簡単に作れます。（→P20）



警告

- 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱し過ぎないなど、注意して調理してください。



注意

- 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

使いかた 手動メニュー（グリル）

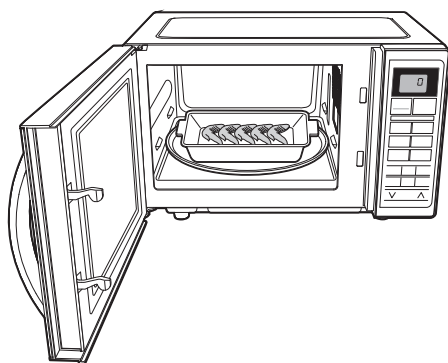
- ヒーター加熱（グリル）を使用します。使用可能な容器については8～9ページをご覧ください。

手動で時間を設定してグリル調理します。

※ 温度は設定できません。手動で時間を設定して調節してください。

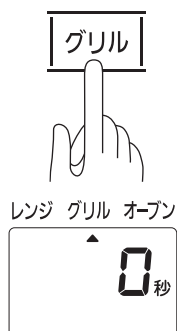
1 食品を入れて扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- ・食品を耐熱性の容器に入れて丸皿に置きます。
- ・食品は、丸皿の中央に、均等に配置してください。
- ・パンをトーストするようなときは、丸皿を外し回転台の上にパンを直接のせてください。



2 手動メニューのグリルボタンを押す

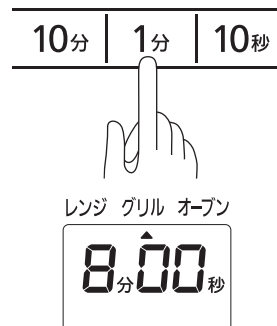
- ・加熱時間の設定表示になります。



※ 操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

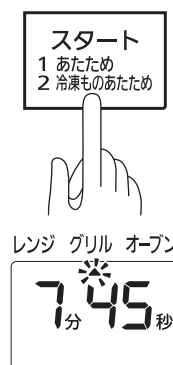
3 時間設定ボタンで、時間を設定する



- ・30分まで設定できます。

4 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めてスタートボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・とりけしボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、丸皿が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 手動メニュー（オーブン）

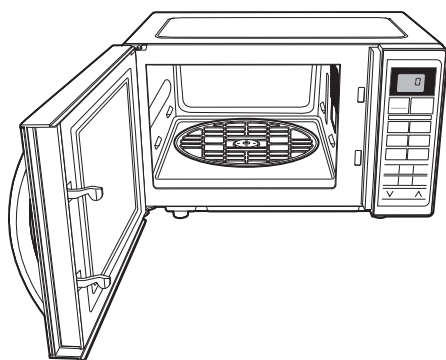
- ヒーター加熱（オーブン）を使用します。使用可能な容器については8～9ページをご覧ください。

■予熱ありの場合

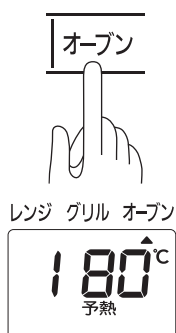
手動で温度と時間を設定してオーブン加熱します。予熱をして庫内温度を上げてから調理します。

1 丸皿を外して扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
 - ・丸皿を取り出した後、扉を閉めます。
- ※丸皿は、予熱後食品を載せてから、庫内にセットします。



2 手動メニューのオーブンボタンを押す



- ※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。
- ※1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。

3 仕上がり／温度ボタンで温度を設定する

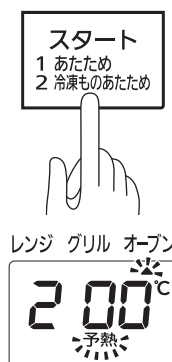
- ・ボタンを押すたびに、40℃と100℃～200℃の範囲で温度が切り替わります。



- ※40℃（発酵）を選んだ場合は、予熱はできません。時間を設定しないと、スタートボタンを押しても反応しません。（→P30）

4 スタートボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、予熱が始まります。
 - ・予熱中は表示部のオーブンの下の▲と予熱が点滅します。
- ※スタートボタンを押す前に時間の設定をすると、予熱なしの調理になります。（→P30）



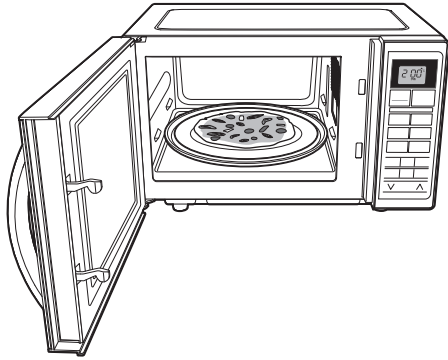
- ※調理を途中で止めるときはとりけしボタンを押してください。

- ・予熱が終了すると、「ピッ♪」と2回鳴って表示部全体が点滅します。



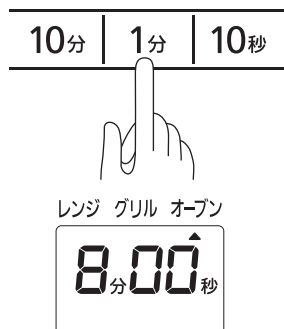
5 予熱が終了したら、丸皿に食品を載せてセットする

- 扉を開けると、表示部は点灯に変わります。
- 食品を耐熱性の容器に入れて丸皿に載せ、庫内に入れて扉を閉めます。
- 食品は、丸皿の中央に、均等に配置してください。



6 時間設定ボタンで、時間を設定する

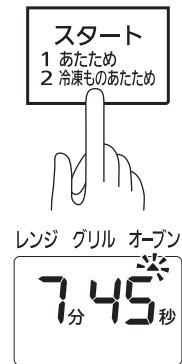
- **予熱**の文字と設定温度の表示が消え、時間が表示されます。



- 90分まで設定できます。
- 20分以上は分単位の設定になります。

7 スタートボタンを押す

- 加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- 残り時間表示中は、**オープン**ボタンを押すと設定温度が3秒間表示されます。
- 扉を開けると、加熱は一時停止します。扉を閉めて**スタート**ボタンを押すと、加熱を再開します。
- **とりけし**ボタンを押すと、加熱は停止します。
- 加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

使いかた 手動メニュー（オーブン） つづき

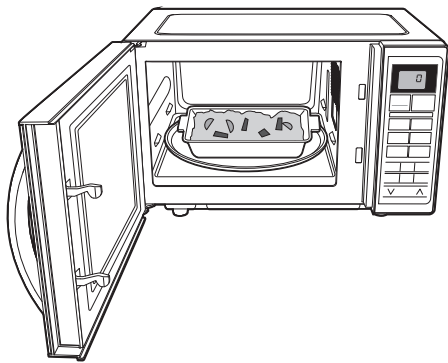
■ 予熱なし・発酵の場合

手動で温度と時間を設定してオーブン調理します。予熱をせずに調理を開始します。調理後で庫内温度が上がっているときや、食品を低温から調理するときに使います。

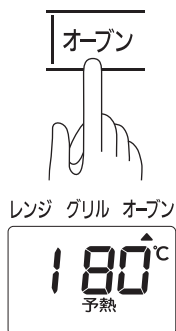
温度を**40℃**に設定すると、**発酵**になります。

1 食品を入れて扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作をしないと、約5分で電源が切れます。
- 食品を耐熱性の容器に入れて丸皿に置きます。
- 食品は、できるだけ中央に、均等に配置してください。



2 手動メニューのオーブンボタンを押す



- ※ 操作を取り消すときは**とりけし**ボタンを押してください。
- ※ 1分間何も操作をしなかった場合も、操作は取り消されます。
- ※ 時間設定をするまでは、表示部に**予熱**が表示されます。

3 仕上がり／温度ボタンで温度を設定する

- ボタンを押すたびに、**40℃**と**100℃～200℃**の範囲で温度が切り替わります。

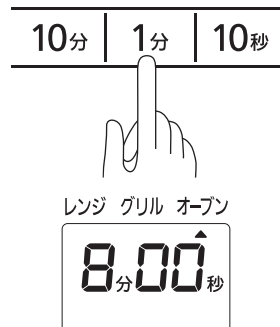


40℃：発酵

100℃～200℃：オーブン

4 時間設定ボタンで、時間を設定する

- 時間設定ボタンのいずれかを押すと、予熱モードは解除され、時間設定の画面になります。

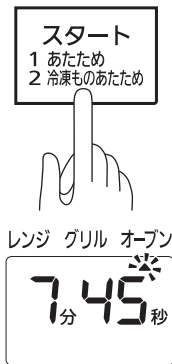


- 90分まで設定できます。
 - 20分以上は分単位の設定になります。
- ※ **スタート**ボタンを押す前に時間設定をしてください。

お手入れ

5 スタートボタンを押す

- ・加熱がスタートし、残り時間が表示されます。



- ・残り時間表示中は、**オープン**ボタンを押すと設定温度が3秒間表示されます。
- ・扉を開けると、加熱は一時停止します。
扉を閉めて**スタート**ボタンを押すと、加熱を再開します。
- ・**とりけし**ボタンを押すと、加熱は停止します。
- ・加熱が終了すると、「ピッ♪」と5回鳴ってお知らせします。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面、丸皿が熱くなるので、やけどに注意してください。
- 加熱後は、容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。



注意

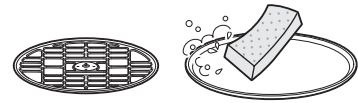
- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

- 使用後は早めにお手入れしてください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

回転台・丸皿

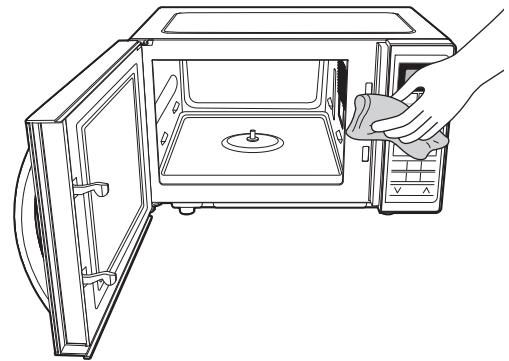
薄めた台所用洗剤で洗い、水で流す

- ・洗った後、よく乾かしてください。



本体・庫内

よく絞ったふきんで拭く



注意

- 庫内は汚れがついたままにしないでください。火災の原因になります。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
扉を開けても、電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない ● 電源ブレーカーが入っていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ● 安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
ボタンを押しても反応しない	● 電源が切れている（表示が消えている）	● 扉を開けて電源を入れてください。
加熱中に電源が切れる（ブレーカーが切れる）	● 使用できる電力の量を超えている	● 他の電気製品のスイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	● 扉がしっかり閉まっていない	● 扉をしっかり閉めてください。
動作しない エラー表示：E00	● 回転台を取り付けていない	● とりけしボタンを押して、回転台を取り付けてやり直してください。（→P13）
動作しない エラー表示：E01	● 食品の量が多すぎる	● とりけしボタンを押して、食品の分量を減らしてやり直してください。
動作しない エラー表示：E02	● 食品の量が少なすぎる	● とりけしボタンを押して、食品の分量を増やしてやり直してください。
動作しない エラー表示：E03 E04 E05 E06 E07	● 製品が故障している	● ただちに使用を中止し、修理専用コールへご連絡ください。
お知らせ音が鳴らない	● お知らせ音が切になっている	● とりけしボタンを3秒以上長押しして、お知らせ音を入にしてください。（→P16）
1分ごとに、「ピッ」と5回鳴る	● 調理後、食品を取り忘れている	● 扉を開けると音は止まります。庫内の食品を取り出してから、扉を閉めてください。
解凍するとむらが出て、一部が煮えてしまう	● 食材が半解凍されていた	● 食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。

食品が あたたまらない	●庫内や容器に水滴がついている	●水滴に熱が吸収されると食材が十分にあたたまりません。水滴がついている場合は拭き取って使用してください。
	●冷凍品を あたため メニューであたためている	●冷凍品は熱が通りにくいので、 冷凍ものあたため メニューを使用してください。
火花が出る	●アルミホイルを使用している	●レンジ加熱ではアルミホイルは使用しないでください。(→P9)
	●金銀模様のある容器を使用している	●レンジ加熱では金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P8)
	●庫内に食品かすなどが付着している	●庫内をお手入れしてください。(→P31)
加熱中に「ブーン」という音が大きくなったり小さくなったりする	●加熱をコントロールしている	●故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱中に「カチッ」という音がする		
加熱中に「ボコン」という音がする	●調理の熱で庫内壁面が膨張する	●故障ではありません。そのまま使用してください。
加熱が終了してもファンの音がする	●加熱が終了した後も内部を冷却するためにファンが回る	●内部が冷却されるまでお待ちください。電源プラグは抜かないでください。
煙が出るにおいがする	●初めて使用する前から焼きをしていない	●初めて使用する前から焼きをしてください。(→P14)
レンジ加熱中、扉に水滴がつく	●食品から出た水蒸気が扉に結露する	●故障ではありません。結露したときは、ふきんで拭き取ってください。
丸皿が 回転しない	●丸皿・回転台が正しくセットされていない	●丸皿・回転台を正しくセットしてください。
	●食器や容器が庫内壁面に引っかかっている	●食器や容器が庫内壁面に触れないようにしてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

電源		AC 100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
レンジ	定格消費電力	920W	1,250W
	定格高周波出力	500W※1、200W相当	650W※1、500W※1、200W相当
	発振周波数	2,450MHz	
	タイマー	10秒～15分(650W、500W)、10秒～90分(200W相当)	
グリル	定格消費電力	1,250W	
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W	
	タイマー	10秒～30分	
オーブン	定格消費電力	1,250W	
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W	
	温度調節	40℃(発酵)、100～200℃	
	タイマー	10秒～90分	
外形寸法（ハンドル・突出部を除く）		幅462×奥行329×高さ293mm	
加熱室の有効寸法		幅280×奥行286×高さ168mm	
丸皿寸法		直径272mm	
総庫内容量※2		約16L	
製品質量（丸皿・回転台含む）		13.5kg	
コードの長さ		1.5m	
区分名※3		B	
電子レンジ機能の年間消費電力量※4		62.3kWh / 年	
オーブン機能の年間消費電力量※4		10.5kWh / 年	
年間待機時消費電力量※4		0.0kWh / 年	
年間消費電力量※4		72.8kWh / 年	

※1 高周波出力650W、500Wは短時間高出力機能（15分）であり、調理中自動的に350Wに切り替わります。

※2 総庫内容量とは、JISの測定基準にもとづき算出された容量です。

※3 区分名は、家庭用品品質表示法及び省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※4 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続した状態で、表示部が消灯しているとき（待機時）の消費電力は0Wです。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用のオープンレンジの点検を！

こんな症状はありませんか

- 丸皿が回転しない
- ボタンを押しても、加熱しないときがある
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする
- 電源コードに破れがある
- 扉にがたや変形がある
- 触れるとピリピリ電気を感じる
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

オープンレンジ MO-T1604

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間 ※付属品（丸皿・回転台）を除く	
年 月 日					
お 客 様	お名前			※ 販 売 店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話（ ） -				電話（ ） -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは
アイリスコール（通話料無料）

修理に関するお問い合わせは
修理専用コール（通話料無料）

0120-311-564 **0800-170-7070**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは（通話料無料） **0800-888-2600**

Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールアドレスにご記入のうえ送信してください